

第3回「ボノロンの森環境活動」 富士山周辺で清掃活動を実施

株式会社キッズステーション（以下キッズステーション、東京都渋谷区、代表取締役社長 渡辺喜久）は、株式会社セブン銀行（以下セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長 二子石謙輔）とともに、平成22年9月25日（土）富士山の麓、静岡県富士宮市の森で、「ボノロンの森環境活動」と題し、自然体験プログラムへの参加と、永年堆積したゴミを掘り出す清掃活動を実施し、両社の社員とその家族総勢42人が参加しました。

本取り組みは、2007年11月よりキッズステーションで放送をスタートした「ボノロン～不思議な森のいつたえ～」と、原作の「森の戦士ボノロン」を掲載しているオリジナル読み聞かせ絵本「ポラメル」に協賛をしているセブン銀行が、「ボノロンの森をきれいにしよう。」をキャッチフレーズに両社社員に自然、環境などへの問題意識を高め、社会貢献の大切さを啓蒙する目的で呼びかけたもで、当日はホールアース自然学校(NPO法人ホールアース研究所の任意団体で、自然体験型の環境教育を推進)による、自然体験プログラム「フォレストウォーク」に参加。森の散策を通じて、自然の雄大さを実感するとともに、自然環境を守っていくことの大切さを学びました。また、清掃活動では今年も富士山クラブ(富士山の自然を通して環境問題に取り組むNPO法人)に清掃活動の指導をしていただき、自然界では分解されず、落ち葉などで土中に堆積した、たくさんのゴミを収集しました。

今後も両社は「ボノロン」を通じた、社員参加による清掃活動をはじめとする環境活動や、読み聞かせや絵画コンクールを通して、親子のコミュニケーション促進を図ってまいります。

【清掃活動概要】

- ①日時 平成22年9月25日（土）
- ②清掃活動場所 静岡県富士宮市
- ③収集したゴミ
 - 【不燃ゴミ】19袋
 - 【可燃ごみ】4袋
 - 【割れ物】17袋
 - 【その他】タイヤ、ノコギリ、パイプ、ライター、注射器 など



◆本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-6327-2613 FAX:03-5474-8964

キッズステーション 広報室 青木 aoki@kids-station.com



初冠雪を記録した9月25日、静岡県富士宮市の西臼塚を散策。標高1200㍍の高地だけあって、じっとしていると寒い。



自分で選んだ木を、目隠しをしてもう一時探してみたり、倒木された木の周囲におかれた、クリップやボールペンなど自然界では存在しない物がいくつ隠されているかを当てたり、五感を使うプログラムに、大人も子どももわくわくしながら取り組みました。子どもたちには写真を使って分かりやすく説明する場面も。



- ・ 落ち葉が朽ちて土になり、ゴミは地中に。竹のヘラを使って掘り出します。
- ・ 深い穴には、ピンや缶、屋根に使われていたと思われるトタンが大量に出てきました。
- ・ 何か漬けてあったのでしょうか。大きな瓶の一部も出てきました。